

平成26年行政事業レビューシート

(復興庁)

事業名	医療分野の研究開発の推進(東北メディカル・メガバンク)		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～平成32年度(予定)		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月東日本大震災復興対策本部)、医療イノベーション5か年戦略(平成24年6月医療イノベーション会議)、第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)、科学技術イノベーション総合戦略(平成25年6月7日閣議決定)日本再興戦略(平成25年6月14日 閣議決定)、健康・医療戦略(平成25年6月14日 関係大臣申し合わせ)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災の被災地の住民を対象として健康調査を実施し、大規模なバイオバンクを構築。また、健康調査の結果の回付等を通じて被災地の住民の健康管理に貢献するとともに、バイオバンクを用いた解析研究を実施することにより、個別化予防等の基盤を形成し、将来的には、東北発の次世代医療の実現を目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災の被災地に医療関係人材を派遣して住民の同意を得つつ健康調査を実施し、健康調査の結果の回付等を通じて被災地住民の健康不安の解消に貢献するとともに、15万人規模の生体試料、健康情報等が収集されたバイオバンクを構築することで、次世代医療の実現のための基盤を形成する。さらに、協力者から得られたゲノム情報、健康情報、診療情報等を併せて解析することで、遺伝的要因や環境要因と疾患との関係を明らかにし、病気の正確な診断や予防、薬の副作用の低減等の次世代医療の実現を目指す。 (補助率:100%)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	5,607	3,936	3,343	3,243	
		補正予算	15,768	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	3,869	28	-	
		翌年度へ繰越し	▲ 15,708	▲ 3,869	▲ 28	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計	60	1,738	7,776	3,371	3,243		
	執行額	59	1,714	7,768	-	-		
執行率(%)	98.3%	98.6%	99.9%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (26年度)
	①地域住民コホート調査のリクルート数		成果実績	人			①20,095 ②3,548	
	②3世代コホート調査のリクルート数 (注)平成25年度より調査を開始		目標値	人			①16,231 ②5,008	①31,387 ②28,161
			達成度	%			①124% ②71%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	①特定健診参加型調査の実施地域数(宮城/岩手)		活動実績	数			①10/7 ②7/2 ③32	-
	②地域支援センター/サテライト等の稼働施設数(宮城/岩手)		当初見込み	数			①10/7 ②7/5 ③39	①16/5 ②7/5 ③45
	③3世代コホート調査の実施医療機関数(宮城) (注)平成25年度より調査を開始							
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	①地域住民コホート調査関連経費÷リクルート人数		単位当たりコスト	円/人			①52,546 ②67,320	①38,298 ②29,245
	②3世代コホート調査関連経費÷リクルート人数		計算式	百万円/人			①1,056/20,095 ②239/3,548	①1,202/31,387 ②824/28,161
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	科学技術振興謝金	1.2百万円	-	※平成27年度から日本医療研究開発機構向け補助金において事業を実施。				
	科学技術振興職員旅費	1.9百万円	-					
	科学技術振興委員等旅費	2.9百万円	-					
	科学技術振興庁費	0.5百万円	-					
	科学技術試験研究委託費	9.1百万円	-					
	次世代医療研究開発拠点形成事業費補助金	3,327.3百万円	-					
	医療研究開発推進事業費補助金	-	3,242.9百万円					
計	3,342.9百万円	3,242.9百万円						

事業所管部局による点検・改善						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	・東日本大震災の被災地の復興のために国が取り組むべき施策として、「東日本大震災からの復興の基本方針」、「健康・医療戦略」等に位置づけられており、優先度が高い事業である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	・「東日本大震災からの復興の基本方針」において、東北大学を中心として実施すべき、と位置づけられており、そのような方針に従って実施体制を構築している。 ・実施機関に設置したWGにおいて、導入する設備の妥当性を審議し、事業目的に即した予算執行に努めている。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	・文部科学省に設置した「東北メディカル・メガバンク計画推進本部」が「東北メディカル・メガバンク計画 全体計画」を策定し、「東北メディカル・メガバンク計画推進委員会」の助言を得て、全体計画に基づく事業の進捗管理を実施している。更に、収集される生体試料、解析して得られた情報は、適切な審査制度の下、我が国の研究機関に幅広く提供できるよう、外部有識者を含む委員会を設置し、具体的な制度の検討を進めている。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	・オーダーメイド医療の実現化プロジェクトは疾患コホート研究であり、「健康・医療戦略」(平成25年6月)や上記推進委員会等での指摘を踏まえ、本事業との具体的な連携を進めている。また、他の疾患コホートや健常人コホートとの連携についても、外部有識者が参画するWG等で具体的な検討を実施している。			
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名
		オーダーメイド医療の実現化プロジェクト	文部科学省			
点検・改善結果	点検結果	平成25年度からの本格的な健康調査の開始に向け、コホート調査や解析研究等の具体的な実施計画(「東北メディカル・メガバンク計画 全体計画」)を平成24年度に「東北メディカル・メガバンク計画推進本部」において決定し、本全体計画に則った事業運営を行っている。被災地の復興と東北発の次世代医療を実現すべく、他の先行して実施されているコホート等の知見を有効に活用しつつ事業を推進しているものの、建物新営その他工事において作業員や資材の確保が困難となり建物完成が遅れ、そこへ設置する設備の発注等が行えなくなったことにより執行が遅れていたが、平日夜間や休日返上で工事を実施するほか、作業工程の工夫により設備導入を一部並行して実施するなど、可能な限り早期の執行に努めた。 また、事業の実施に当たっては「東北メディカル・メガバンク計画推進委員会」等の助言を踏まえ、事業の進捗に応じて全体計画の改訂等を実施し、適切な進捗管理に努めた。				
	改善の方向性	引き続き、「東北メディカル・メガバンク計画推進委員会」等において事業の進捗管理を適切に実施しつつ、「東北メディカル・メガバンク計画 全体計画」に基づき事業を推進する。必要に応じて全体計画の見直し等を実施するとともに、予算の執行状況に関する点検・検証に努める。				
外部有識者の所見						
類似事業との重複を排除するだけでなく復興事業として実施すべき内容かどうかについて引き続き精査を行い、事業規模の適正化や事業終期について検討すること。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	被災地の住民の健康管理や、将来的な東北発の次世代医療の実現は、被災地の医療復興の観点から復興に資する必要性の高い事業である。その一方で事業の進展とともに、一般的な疫学的研究と、復興財源で行うべく事業を区分・整理(疫学的研究は一般会計へ移行)することが適当である。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	事業の目的である、健康調査の結果の回付等を通じた被災地の住民の健康管理に貢献するとともに、大規模なバイオバンクを構築する目的の達成に向かう一方で、一般的な疫学的研究と復興財源で行うべき事業を区分・整理した(対前年度比100百万円減)					
備考						
・復興-058、文科-0239、0244は一体的に実施しているものであり、成果目標及び成果実績、活動指標及び活動実績、単位当たりコストは同一の記載である。 ・「予算額・執行額」の平成23年度部分については、文部科学省が計上した同様の事業(No0244)の予算額等を参考記載しているもの。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	—	平成24年	33	平成25年	039

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

復興庁
7,776百万円

〔 文部科学省へ移替え 〕

文部科学省
7,768百万円

諸謝金 0.3百万円
職員旅費 1.0百万円
委員等旅費 0.2百万円
庁費 0.1百万円 } を含む

〔 東日本大震災の被災地の住民を対象として健康調査を実施し、大規模なバイオバンクを構築。また、健康調査の結果の回付等を通じて被災地の住民の健康管理に貢献するとともに、バイオバンクを用いた解析研究を実施することにより、個別化予防等の基盤を形成し、将来的には、東北発の次世代医療の実現を目指す。 〕

〔 補助 〕

〔 委託 〕

A. 7,758百万円

A-1.国立大学法人 東北大学 6,696百万円	A-2.学校法人 岩手医科大学 1,062百万円
--------------------------------	--------------------------------

D. 独立行政法人
科学技術振興機構
9百万円

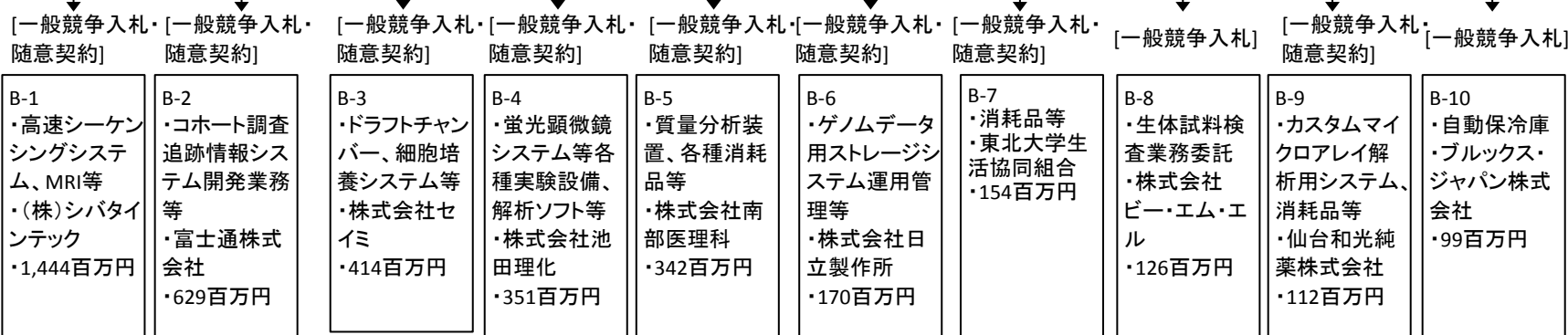
〔 <東北メディカル・メガバンク計画支援事業>
東北メディカル・メガバンク計画事業における研究の評価、事業の管理等の支援事務 〕

〔 <次世代医療研究開発拠点形成事業費補助金>
東北メディカル・メガバンク計画の実施 〕

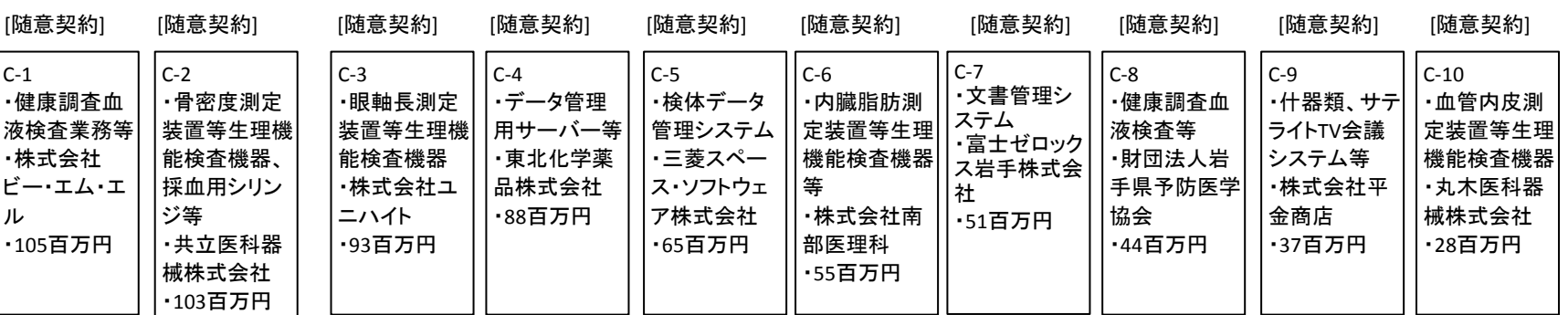
※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A-1.国立大学法人 東北大学 6,696百万円



A-2.学校法人 岩手医科大学 1,062百万円



A.次世代医療研究開発拠点形成事業費補助金			B-2.富士通株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	東北メディカル・メガバンク計画の実施	7,758	雑役務費等	コホート調査追跡情報システム開発業務等	629
計		7,758	計		629
A-1.国立大学法人東北大学			B-3.株式会社セイミ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
設備備品費	設備備品の購入	2,008	設備備品費等	ドラフトチャンバー、細胞培養システム等	414
人件費	業務担当者等の人件費、社旗保険料事業主負担分	1,022			
業務実施費	消耗品の購入、旅費、雑役務等	3,666			
計		6,696	計		414
A-2.学校法人岩手医科大学			B-4.株式会社池田理科		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
設備備品費	設備備品の購入	327	設備備品費等	蛍光顕微鏡システム等各種実験設備、解析ソフト等	351
人件費	業務担当者等の人件費、社旗保険料事業主負担分	294			
業務実施費	消耗品の購入、旅費、雑役務等	441			
計		1,062	計		351
B-1.(株)シバタインテック			B-5.株式会社南部医理科		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
設備備品費等	高速シーケンシングシステム、MRI等	1,444	設備備品費等	質量分析装置、各種消耗品等	342
計		1,444	計		342

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

B-6.株式会社日立製作所			B-10.ブルックス・ジャパン株式会社		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費等	ゲノムデータ用ストレージシステム運用管理等	170	設備備品費	自動保冷库	99
計		170	計		99
B-7.東北大学生協同組合			C-1.株式会社ビー・エム・エル		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
消耗品費等	ネットワーク型データ記録装置(L2NAS)等	154	業務委託費等	健康調査血液検査業務等	105
計		154	計		105
B-8.株式会社ビー・エム・エル			C-2.共立医科器械株式会社		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	生体試料検査業務委託	126	設備備品費等	骨密度測定装置等性能検査機器、採血用シリンジ等消耗品	103
計		126	計		103
B-9.仙台和光純薬株式会社			C-3.株式会社ユニハイト		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
設備備品費等	カスタムマイクロアレイ解析用システム、消耗品等	112	設備備品費	眼軸長測定装置等生理機能検査機器	93
計		112	計		93

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と用途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

C-4.東北化学薬品株式会社			C-8.財団法人岩手県予防医学協会		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
設備備品費等	データ管理用サーバー等	88	業務委託費	健康調査血液検査等	44
計		88	計		44
C-5.三菱スペース・ソフトウェア株式会社			C-9.株式会社平金商店		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
設備備品費	検体データ管理システム	65	消耗品費等	什器類、サテライトTV会議システム等	37
計		65	計		37
C-6.株式会社南部医理科			C-10.丸木医科器械株式会社		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
設備備品費等	内臓脂肪測定装置等生理機能検査機器等	55	設備備品費	血管内皮測定装置等生理機能検査機器	28
計		55	計		28
C-7.富士ゼロックス株式会社			D.独立行政法人科学技術振興機構		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
設備備品費	文書管理システム	51	委託費	東北メディカル・メガバンク計画事業の管理等の支援事務	9
計		51	計		9

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と用途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東北大学	東北メディカル・メガバンク計画の実施	6,696	-	-
2	学校法人岩手医科大学	東北メディカル・メガバンク計画の実施	1,062	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)シバタインテック	高速シーケンシングシステム、MRI等	1,444	複数案件	—
2	富士通株式会社	コホート調査追跡情報システム開発業務等	629	複数案件	—
3	株式会社セイミ	ドラフトチャンバー、細胞培養システム等	414	複数案件	—
4	株式会社池田理科	蛍光顕微鏡システム等各種実験設備、解析ソフト等	351	複数案件	—
5	株式会社南部医理科	質量分析装置、各種消耗品等	342	複数案件	—
6	株式会社日立製作所	ゲノムデータ用ストレージシステム整備・運用管理等	170	複数案件	—
7	東北大学生協同組合	ネットワーク型データ記録装置(L2NAS)等	154	複数案件	—
8	株式会社ビー・エム・エル	生体試料検査業務委託	126	2	85
9	仙台和光純薬株式会社	カスタムマイクロアレイ解析用システム、消耗品等	112	複数案件	—
10	ブルックス・ジャパン株式会社	自動保冷庫	99	1	100

(※)複数案件とは一般競争入札や随意契約が複数件含まれていることを指している。

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ビー・エム・エル	健康調査血液検査業務等	105	随意契約	—
2	共立医科器械株式会社	骨密度測定装置等性能検査機器、採血用シリンジ等消耗品	103	随意契約	—
3	株式会社ユニハイト	眼軸長測定装置等生理機能検査機器	93	随意契約	—
4	東北化学薬品株式会社	データ管理用サーバー等	88	随意契約	—
5	三菱スペース・ソフトウェア株式会社	検体データ管理システム	65	随意契約	—
6	株式会社南部医理科	内臓脂肪測定装置等生理機能検査機器等	55	随意契約	—
7	富士ゼロックス株式会社	文書管理システム	51	随意契約	—
8	財団法人岩手県予防医学協会	健康調査血液検査等	44	随意契約	—
9	株式会社平金商店	什器類、サテライトTV会議システム等	37	随意契約	—
10	丸木医科器械株式会社	血管内皮測定装置等生理機能検査機器	28	随意契約	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人科学技術振興機構	東北メディカル・メガバンク計画事業の管理等の支援事務	9	1	-